

乳牛の夏バテ防止に青刈飼料根菜の栽培を！！

ほほえみ うなずき ささやき
あなたは何を連想されるでしょうか？

あなたと愛牛との信頼関係！！雪印種苗はそのかげでお役に立ちたいと思っております。

このニュースでは「雪印改良紫丸かぶ」と「除草剤利用によるバラ播き省力栽培法」をご紹介します。

放牧時の飼料構造はとかく牧草（青草）単一になりがちです。（満腹しても満足感は得られません。）さらに高温が続く季節になると採食量も落ちてきます。

愛牛の夏バテを防ぎ、満足感を与え、良質牛乳の高生産に結びつく自給飼料として、青刈飼料根菜を栽培・給与したいものです。

青刈根菜類のエース、それが「雪印改良紫丸かぶ」です。雪印改良紫丸かぶは作りやすく、どこにでも簡単に栽培でき、しかも短期間で収穫が可能です。春播き（夏期青刈用）から夏播き（冬期貯蔵用）まで播種時期は選びません。（播種期：5月上旬から8月上旬の間）栽培については特に難しいことはありませんが、ここでは夏期青刈用として有利な「除草剤利用によるバラ播き省力栽培法」をご紹介します。

◎ 雪印改良紫丸かぶの品種特性

根は球形、半分ぐらい地上に出て紫色を呈するが、地下部は白色である。肉質は白色で質は緻密である。

茎葉は比較的少なく（バラ播き栽培に適し）、早生種で生長早く多収である。

積雪寒冷地向きで、東北・北海道は勿論、中部山岳酪農地帯での利用もできる。

◎ 雪印改良紫丸かぶのバラ播き栽培のしかた

—— 除草剤利用による省力栽培 ——

準備するもの（10a 当たり）

- ① 種子 雪印改良紫丸かぶ
- ② 肥料 硫安40kg、過石40kg、硫加10kg
- ③ 除草剤 トレフアノサイド 2.5%粒剤 4 kg

播種法

○畑の整地が終わると、準備した①②③をよく混ぜあ



雪印改良紫丸かぶ

早春播きでも抽苔せず、70日で5tはとれる。多収品種で、早春に播種すると牧草1～2番刈りのツナギ、夏バテ防止用に役立ちます。

わせ、均一にバラ播きします。

- 播種が終わったら、ロータリーで浅く（5cm前後）攪土します。
- 攪土後ローラー等で鎮圧しますと、より発芽が良好となります。

管理

- 慣行播種法に比べて、除草・間引きなどの手間は不要です。
- バラ播きですから初めは個体数が多く、その後自然淘汰を受けある程度減ってきます。
- 1m²当たり30～40個体で最も高収が期待され、したがって葉害虫による過度の淘汰（欠株化）を防ぐことが大切です。
- 播種後30日前後に状況を見て2～3回殺虫剤（ディープテックス剤）を散布します。
- 播種後70～80日で根部の収穫適期を迎えますが、茎葉をつけたままの青刈給与の場合は、60日頃から収穫利用してよいでしょう。